

南小コミュニティ・スクール ～沼貫とともにある南小学校～

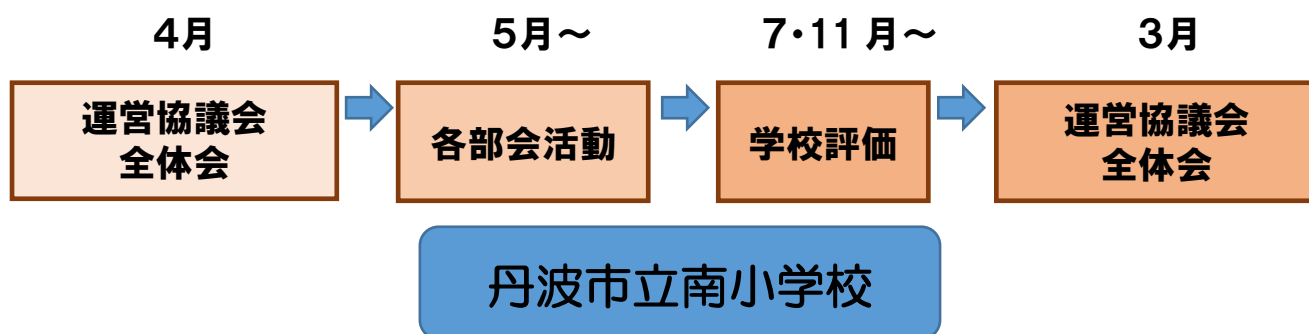


～ 地域は大地 学校は樹 ～

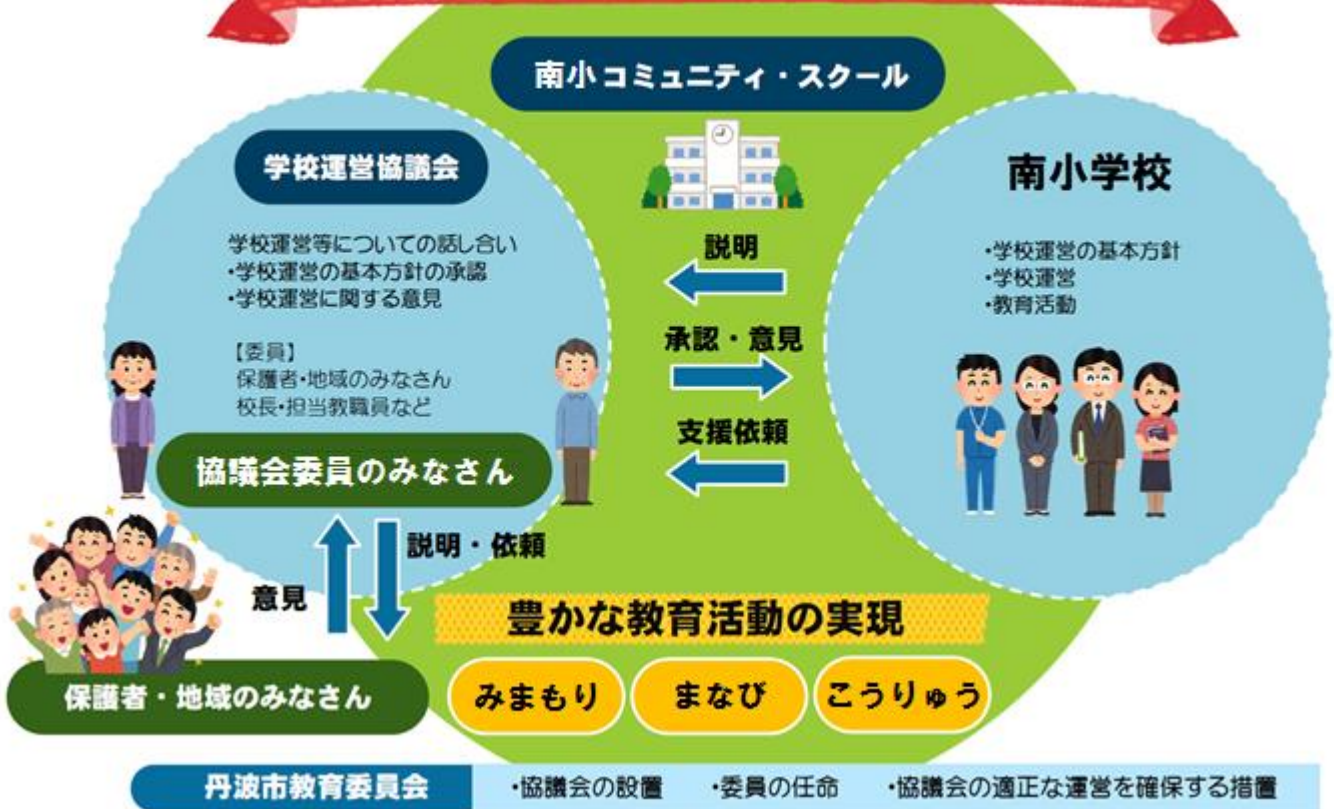
これからの社会を担う丹波の子どもたちを育てるためには、学校と地域がよいパートナーとして連携・協働して取組を進めていくことが大切です。学校と保護者・地域の皆さんが「どのような子どもたちを育てるのか」、「そのために何を実現していくのか」といった目標やビジョンを共有することが重要になってきます。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と保護者・地域の皆さんが力を合わせて学校の運営に取り組むことができ「地域とともにある学校」にしていくためのよい仕組みです。コミュニティ・スクールで、学校運営にみなさんの声を積極的にいかしていただき、地域とともにある特色ある南小学校にしていきたいと思います。

1年間のスケジュール



丹波市がめざす コミュニティ・スクールイメージ



コミュニティ・スクールって何？

Q コミュニティ・スクールは、他の学校とどこが違うのですか？

A 学校運営に当たって、保護者や地域の皆さんの参画を制度的に保障する仕組みになっていることが他の学校と違うところです。学校と地域が力を合わせることによって、互いに信頼し合い、それぞれの立場で主体的に地域の子どもたちの成長を支えていく、そんな学校づくり、地域コミュニティづくりを進めていくことが、コミュニティ・スクールの一番のねらいです。

Q 学校運営協議会は、どのようなことを話し合うのですか？

A 学校長が提案した学校の重点目標など学校運営方針の承認を行います。また、「挨拶の指導に力を入れてほしい」、「ふるさと教育を充実させてほしい」など学校運営に関する意見具申を行います。

Q 学校運営協議会の委員は、どのような人になるのですか？

A 「学校運営協議会の設置に関する規則」で、地域の住民、保護者、校長、教職員、その他校長が適当と認める者のうちから、校長が推薦することになっています。子育て世代前の若年層や役員経験者（役員を退いた方）を選任することで、他の組織の役員との兼務を避け、委員の負担軽減を図ることも考えられます。

ぬぬぎの子どもたちを地域みんなで育てる

地域との交流、地域行事への参加・参画（南っ子ぬぬぎこうりゅう部会）

沼貫地域との交流を部会の中心にします。

地域に貢献できる活動にも積極的に取り組みます。

各地域の活動に子どもたちが参加していくことを進めていきます。

人のため、地域のために活動できる子の育成をめざします。



まなび活動の充実（南っ子まなび応援部会）

人権教育「ココギン」を部会の柱にして活動します。

心豊かな子の育成を目指します。 笑顔・挨拶・おもいやり

様々な分野のゲストティーチャーの活躍（沼貫ならでは取組）



子どもたちの安全のために（南っ子みまもり部会）

登下校の安全・下校後の安全を活動の中心にします。

子どもたちの安全・安心な暮らしをめざします。

学校の役割、保護者の役割、地域の役割をはっきりさせていきます。



沼貫まつり「子ども広場」の取組について

平成 30 年の「子ども広場」(6年生の子どもたちによる出店)



成果

- 主体的な取組ができた。
- 異年齢の交流が出来た。
- 地域への貢献意識の醸成が出来た。
- いろいろな友だちと協力ができた。

今年の「子ども広場」(6年生の子どもたちと地域による出店)

活動例① 子どもたちの取組に地域の人の手助けを

- 企画は子どもたち
- 準備段階で手助け
- 運営での見守り



今年の「子ども広場」(6年生の子どもたちと地域による出店)

活動例② 地域と子どもたちで新たな取組を企画

- 子どもたちと地域で企画
- 手伝える部分をボランティア活動で参加
- 地域への貢献意識



今年の「子ども広場」(6年生の子どもたちと地域による出店)

活動例③ 地域の取組に子どもたちが協力

- 従来取組に子どもたちが参加
- 手伝える部分をボランティア活動で参加
- 地域への貢献意識

